

太田市自分ごと化会議2025（第2回） 詳細議事録

- 日 時: 令和7年11月29日（土）9:00～12:00
 - 場 所: 太田市役所3階 大会議室
 - 参加者: 無作為抽出市民: 13名（欠席10名）
 - コーディネーター: 北海道清水町 町民生活課 参事 前田 真
 - 市関係部局: こども課
-

1. 市長挨拶

● 市長

- 「自分ごと化会議」にご参加いただきありがとうございます。
- 今回のテーマは「親子の笑顔輝くまち おおた」。皆さんは「子ども」を経験しているが、「親」となると、経験した人、していない人がいる。経験の有無に関わらず、その立場を想像することは大事。
- 私はここでは市長だが、家に帰ればお父さん、地域では、たまにゴミ捨てや掃除をしなくてはいけない地域の人間である。1人の中にいろんな役割がある。
- 世代を超えて話し合い、遠慮することなく色々な意見を言い合ってほしい。太田市長としても皆さんのご意見をしっかりと受け止めていきたい。

2. 前回の振り返り（※参照：第1回会議議事概要）

3. 会議の流れの説明

● コーディネーター

- 前回皆さんから出された意見をもとに、今回話し合うテーマを3つ設定した。
- 1つ目は、「子育てに必要な給付・無償化について」。

主な意見：給食費や医療費の無償化を高く評価している。

世代間の不公平を感じる。

給食費無償化に伴う質の低下や医療費無償化に伴う病院の混雑が懸念される。

- 2つ目は、「子育てに必要な場づくりについて」。

ソフト事業と呼ばれる悩み事を相談する「場」という意味も含める。

主な意見:こどもプラットの利用者が増加している一方で、定員割れをしている場所もある。

重症心身障がい児が集まったり、サービスを受けたりする場所がない。

夜間・救急対応の一時保育がなく、頼れる人がいない場合困る。

親同士のコミュニティが不足している。PTAを活用してもいいのでは。

- 3つ目は、「子どもの遊び場について」。

主な意見:体育館の冷房が効かない。

公園の環境整備(草刈り、日陰不足、倒木)に課題がある。

4. AIツール「倍速会議」の紹介

● コーディネーター、合同会社多元現実

- 倍速会議:15の質問に「強く同意」から「強く反対」までの5段階から回答すると、自分の意見がレポートとして作成され、他の参加者との意見を比較することができるツール。

5. 議論

■ グループごとに、倍速会議を利用しながら協議

● 子育てに必要な給付・無償化について

1班の主な意見

■ 経済的な拡充への懸念

- ・ お金(経済的な拡充)だけで子育ての環境が「整った」ことになるのか。子育ての「質」や当事者(親や子)の「自覚」が重要ではないか。
- ・ 家事の負担がかかるので、お年寄りに子どもの世話を頼んで、親を助ける仕組みがあると良い。(お年寄りのフレイル防止にもつながる)

■ 病院の混雑と子どもの医療費の無償化について

- ・ 病院は子どもが多いせいで混んでいる訳ではないと感じる。
- ・ 子どもだけ無償化されて「するい」という思いから、子どもの医療費の無償化が原因で混んでいると認識するのでは。
- ・ 昔は家庭で様子を見ることもあったけれど、今は子どもが少しでも体調を崩したら、不安になって病院に連れていくのかもしれない。

■ 給食の質について

- ・ 無償化されるからといって質が下がるというのも変な話。今は物価も上がっている。
- ・ 給食の代替手段として、こども食堂や学童の利用をしても良いのではないか。

■ 無駄な病院の利用を減らす方法について

○コーディネーター：「緊急性の判断は保護者には難しいから病院はいつまでも混み続ける」という論点から、無駄な病院の利用をなくすためのサービスについて話してほしい。

- ・ AI相談室や保健相談があったりするが、それでも結局不安の解消にはならないと感じる。
- ・ そもそも病院が混む理由に、自分が住んでいる住宅街が同じ世代の人ばかりで、病院にかかりたいタイミングが同じというのがある。単純に地域の人口バランスの問題なのでは。

2班の主な意見

■ 小児科の混雑は無償化が原因か

- ・ 原因ではないと思う。混んでいるなど実感したこと自体ない。「緊急性の低い症状でも診察を受けたら大きな病気があった」ということになる可能性もあるので無償化は必要だと思う。
- ・ 症状の重さを見て、本当に緊急の人が受けられるような体制を取ってもらえると助かる。
- ・ コロナによる入場制限や、子育て世代の相談窓口など色々な要因があると思うので、混雑の原因が無償化であると一概には言えないと思う。

■ 無償化に伴うサービスの質について

○給食について

- ・ 質の低下を感じたことはないが、それが当たり前だと思っているから低下に気づかないだけかもしれない。
- ・ 給食センターより給食室で作った給食の方が気分的にいつもより温かくて美味しい気がする。
- ・ 予算が決まっている中で、物価高騰により材料費が上がるとなると、質を下げるしかない。
- ・ 質が落ちているかどうかは、検証しないと分からない。

○病院について

- ・ 夫婦で予約を連打しても取れなくて「やばい」と思ったことがある。専門医だと症例数がやっぱり違うから、集まるところに人が集まってしまう。
- ・ 病院の質にも振れ幅がありそう。
- ・ リモートで専門家に診てもらえる仕組みがあれば、緊急性の判断ができ、混雑緩和になるのは。
- ・ 100円のワンコイン（負担にならず、でも責任を伴う金額）を負担させるのはどうか。安易に病院に任せせず親も考えられるようになってほしい。

3班の主な意見

■ 無償化に伴うサービスの質について

- ・ 無償化の方が気軽に使えるけど、質が落ちるのは違うから、どっちも譲れない。

○病院について

- ・ 言うほど小児科は混んでいない。評判やかかりつけにこだわらなければ病院にかかる。

- ・病院もアプリで予約ができるなど、簡単で便利なシステムになっている。

○給食について

- ・栄養的には多分バッチリ。逆に、家の方が食べていない。

■ 給付を受け取れない世代がいることへの不公平感について

- ・子どもが生まれたのに、条件が合わず給付金を受け取れなかつたことがあった。苛立ちはしないが、ショックだった。
- ・私たち下の世代からしたら、上の世代がどう扱われてきたか分からないから、私たちが恵まれているのかいないのかも分からない。

■ 医療費の無償化について

- ・無料だったから、子どものちょっとした変化でも病院に行って病気を発見できたことがあった。無料でなかつたら病気も見つかっていないから、無償の方がいいのではないかと思う。
- ・医療費が無償で助かった。高校の部活でケガをして入院・リハビリをした時にかかったのはベッド代と部屋代だけですごく良かった。
- ・受診すべきか電話で相談できるサービスがあるけど、全然電話がつながらなかった。
- ・Chat GPTのようなAIに緊急性が高いか相談できるアプリがあるといいかも。
→嘘の情報もあるので、AIを信用しすぎることに懸念もある。

● 子育てに必要な場づくりについて

1班の主な意見

- ・お年寄りのボランティアを募る、子ども食堂の調理を担当するなどして、場づくりに貢献したい。

■ 誰も取り残さない場づくり

- ・「意見を言えない人が取り残されない場づくり」が重要である。
- ・意見をひとまず言ってみる。市役所に電話で相談してみるのも良い。

■ 社会的マイノリティな人たちの場について

- ・少数派の人達が自分の色々な話をできるような場があるとその人たちは救われるのでは。
- ・子どもの頃は障がいのある子と「普通」に付き合っていた。大人になると「普通」の基準が変わってしまうという是有ると思う。
- ・相談場所も同じでいいのに細分化されて、より孤立感を感じてしまう。

2班の主な意見

■ 家庭での子育てについて

- ・自分の子は自分でちゃんと面倒見るようにしたいが、そうすると生活が難しい。給料が2倍もらえたたらと思うが、それは無理なので。

■ PTAや育成会の衰退

- ・PTAはあるが、いつも同じメンバー。PTAの価値を理解してもらえない。「面倒くさい」、「仕事を振られる」とか当たり前だと思うし、親同士が子どもを見るために参加すべきだと思う。

- ・参加をしない人はよほどの利益とプラスがないと他のコミュニティにも集まらないのでは。
- ・PTAのプラスの面をもう少し広げられるといい。今はどんどん衰退してPTA自体なくなっている。
- ・私の地域には育成会があるが、親の「面倒くさい」という都合で育成会に入っていない子はイベントに参加できなったりする。皆が入れば子どもの居場所や親同士の助け合いの場にできるのではと思う。近所の友達は育成会じゃないとできない。
- ・地域によっては「よそ者」への抵抗感があり、新しく引っ越してきた人がコミュニティに入りにくい側面がある。
- ・そもそもコミュニティを求めている人は多いのか。煩わしいけど1人ではいたくない、孤独は嫌だけど人付き合いも面倒くさいという感じなのか。

3班の主な意見

■ 重度心身障がい児の現状

○ハード面

- ・胃ろう(などの医療的ケア)は看護師じゃないとダメ。保育園に看護師がいないから、私の子どもはデイサービスみたいな施設の中で大人に混ざって通っている。資格を持っていないから、施設を作るのは難しい。看護師が来ない理由が給料面なのであれば、市が補助を出してほしい。
- ・市内には施設が少なく、他市の施設を利用するとしても、誤嚥を防ぐために唾液の吸引のケアが必要で、長時間の移動は負担がかかる。

○ ソフト面

- ・群馬県内には同じ病気の子がいない。相談会に参加しても、症状のステージが異なりすぎて、問題解決や共感が得られなかった。コミュニティを細分化しすぎても良くないけど、ある程度細分化してもらった方がいいかな。市で主導してほしい。

● 子どもの遊び場について

1班の主な意見

■ 体育館の冷房について

- ・体育館の冷房が効いているにも関わらず暑いという問題について、体育館の構造上の問題なのではないかと思う。新しいところだったら密閉されるけど古い体育館は冷房をつける以外の手段を考えないといけない。

■ 公園について

○現状

- ・昔遊んでいた公園が今は荒れ放題になっている。(古い遊具、砂場が猫の粪で使用できない、草がのび放題)
- ・ボール、スケートボードの禁止など公園の規制が厳しくなっている。

○改善案

- ・子どもと大人が交流できるイベントや親子で楽しめるイベントがあると、利用が増えるのでは。

- ・一人ひとりが、公園の前を通る時に雑草をとるなど、気を配る行動を起こせば整備されていくと思う。
- ・地域の人を清掃に駆り出すのは難しい。地域貢献した時にゴミ袋をもらうことが多いが、ゴミ袋の代わりにOTACOのポイントが付与されたりすると良い。

2班の主な意見

■ 体育館の冷房について

- ・体育館の造り 자체も今後考えていかないと冷房の効率が悪くなってしまう。
- ・バドミントン部が風の影響を受ける関係で、部活動では冷房をつけられず暑い。

■ 公園について

- ・公園の草がひどく生い茂っているが、除草する人がいない。地域の人も高齢でやらないし、市もやらない。
- ・（割れ窓理論ではないけれど、）草が多いと治安も悪くなる。

3班の主な意見

■ 体育館の冷房について

- ・人が集まる時（集会、体育の時間）につけてくれた。でも、部活の時間は猛暑日しかつけてもらえない。

■ 公園について

- ・日陰になる場所が必要。うちの近くの公園は木が切られてしまった。滑り台も熱くて滑れない。
- ・トイレもすごく汚いところもある。
- ・近所の公園のトイレが新しくきれいになった。朝の出勤時に業者的人がたくさん使うようになった。公園の清掃は地域の自治会が行っているが、それを地域外の人が使うのはどうなのか。

● 情報共有のあり方について

1班の主な意見

- ・情報は届いている人と届いていない人がいるのではないか。
- ・市の情報はホームページ、LINE、チラシから得るくらいしかないとと思う。見ていない人も多いと思うから、新しい方法を考える必要があると思う。
- ・情報量が多すぎて、本当に必要な情報を見つけにくいので、ポイントを絞って情報を流してほしい。

■ 市ホームページについて

- ・公務員志望で自治体について調べるのだが、市が何に重点的に力を入れているのか、目標は何かが認識しづらい。
- ・検索エンジンから情報を得ようとしても、専門的な言葉が分からぬいため、求めている情報が得られない。

2班の主な意見

- ・ 情報が届かないのは、多分興味がないから。あと、分かりづらいから。

■ 回覧板での情報共有

- ・ 回覧板なら強制的に来るから見るには見る。でも、回ってくるのが遅かったり、そもそもアパートに住んでいたり、区費を払っていなかったりすると回ってこないこともある。区費についても、新しい世帯に集めに行っていない場合もある。
- ・ 新しくできた住宅街に住んでいるが、そこにはアプリがあって、回覧板の情報を見られる。
- ・ でも、そのアプリで情報を得ている人も、結局は「情報を取りに行っている人」だけ。

3班の主な意見

- ・ 知りたいと思っていても、情報があることをしなければ調べるも何もない。
- ・ ホームページのチャットボットを使用したが、「分からないので担当者に電話してください」とでてきた。もっと精度を高めてくれたら良い。
- ・ ホームページが見づらい。障がい児は子ども課じゃなく、障がいについての担当部署なのか。

6. 改善提案シートの記入

7. 総括・事務連絡

● コーディネーター

- 会えない時間に現場に行ったり、自分の疑問を解消したり、(議事概要を読んで)他のグループの議論の成り立ちを学んだりしてほしい。

● 事務局

- 次回日程の確認と改めて出欠確認の郵便を送付する旨を連絡。